

3月24日：VN指数は直近2週間の安値に

主要指標であるVN指数は1.83%安の1,161.81ポイントと続落し、3月9日以来の最安値となり、2018年の高値突破が遠のいた。

同指数は終日下げ、一時1,150ポイントの辺りまで売られたが、その後は切り返し、引けでは約22ポイントまで下げ幅を縮めた。

同指数は直近2日間で約33ポイント下げた。2018年4月につけた過去最高値1,204ポイントを超えるには42ポイント以上上昇する必要がある。

ホーチミン市場の売買代金は、14%以上増加し17兆6,500億ドン（7億6,100万米ドル）と直近10日間で最大だった。

VN30指数の組入銘柄では1.3%上昇したビンググループ（VIC）を除き、全て下落した。

優良株の下げを主導したSSI証券（SSI）は4.9%安で直近6週間の安値となった。2月1日に年初安をつけて以来、その銘柄としては一日あたりの下げ幅で最大となった。

TPバンク（TPB）も4.8%安で4日続落となり、直近6週間の安値となった。

ペトロベトナムパワー（POW）は4.1%安で直近20日間の安値となった。

他の主な下落銘柄では、HDバンク（HDB）-3.8%、ヴィエティンバンク（CTG）-3.7%、バオベトホールディングス（BVH）-3.6%となった。

VN30指数以外では、この日に上場した東南アジア商業銀行（SSB）が取引初日に19.9%高となった。

FLCグループ（FLC）は6.6%高で、5日続伸。

外国人投資家は23日連続で売り越し、この日の売買代金は29%増加し3,640億ドンだった。

Selling pressure was strongest on KBC of industrial real estate developer Kinh Bac, POW and HPG of steelmaker Hoa Phat Group.

キンバックシティグループ (KBC) 、ペトロベトナムガス (POW) 、ホアファットグループ (HPG) は利益確定売りで最も大きく売られた。

中小型株中心のハノイ市場の HNX 指数は 1.34%安、非上場市場の UPCoM 指数は 0.79%安となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。